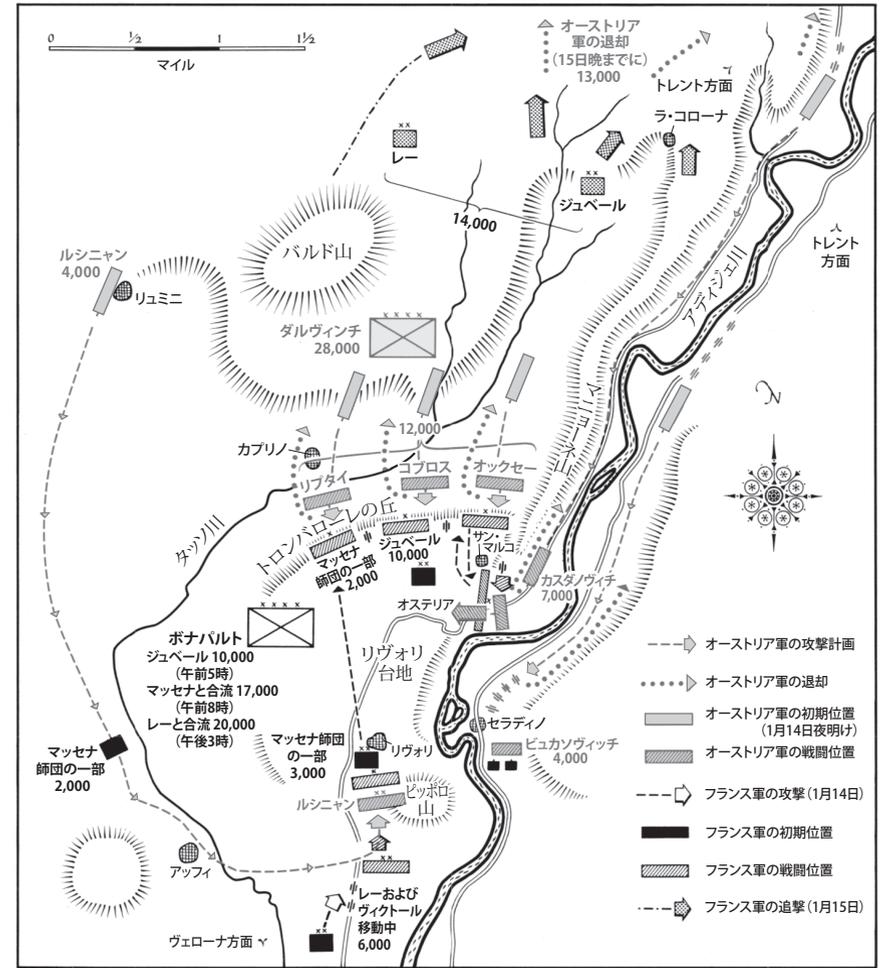




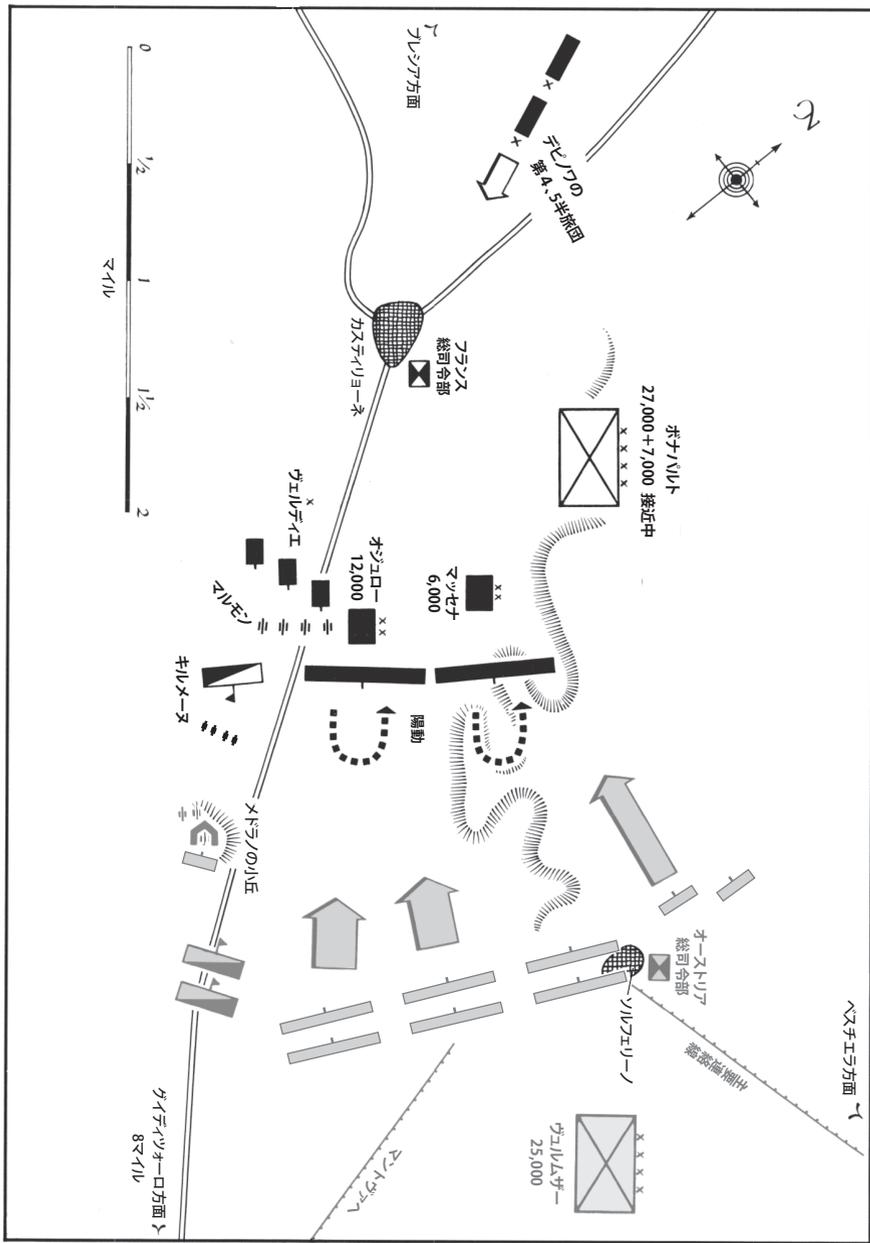
イタリア戦役 (1796年~1797年)



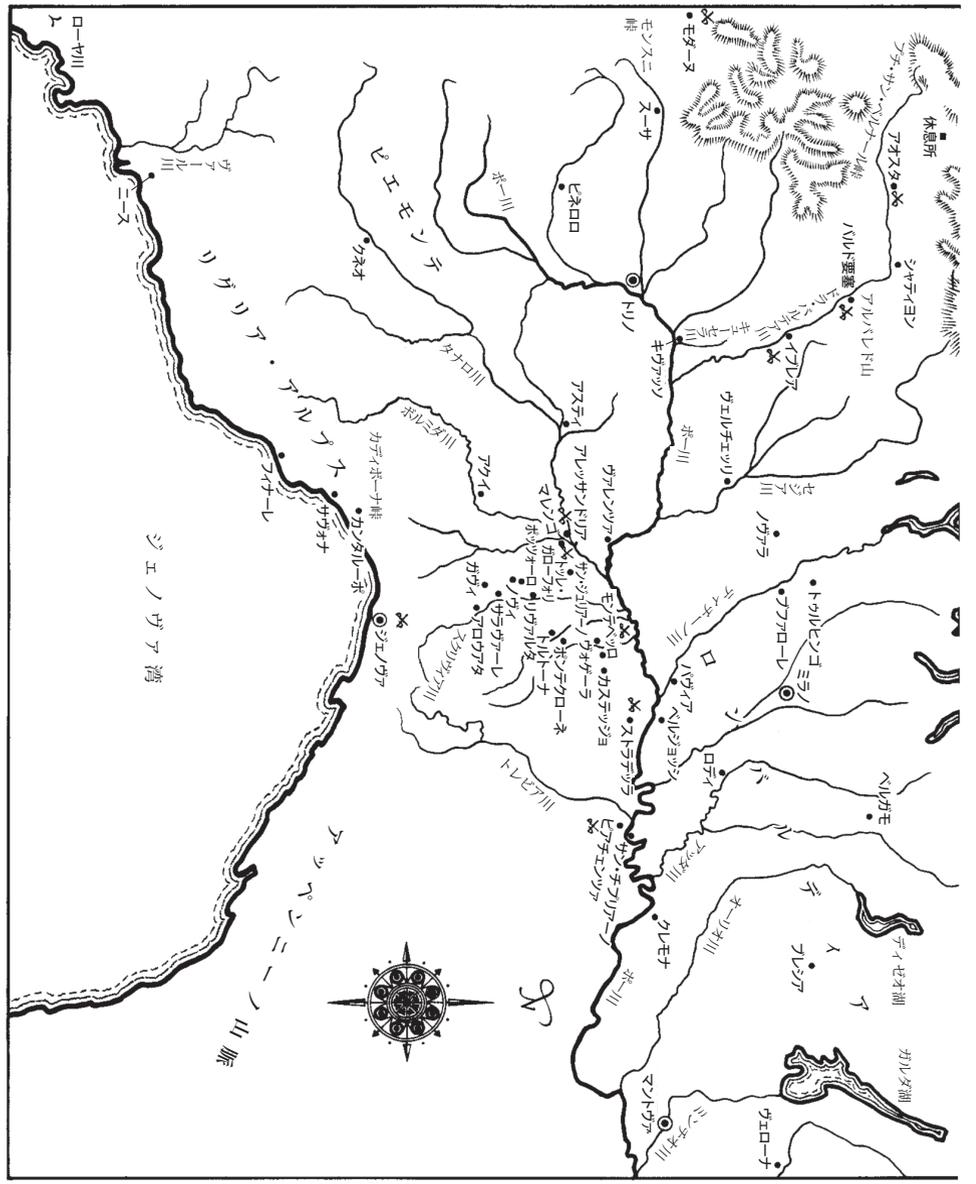
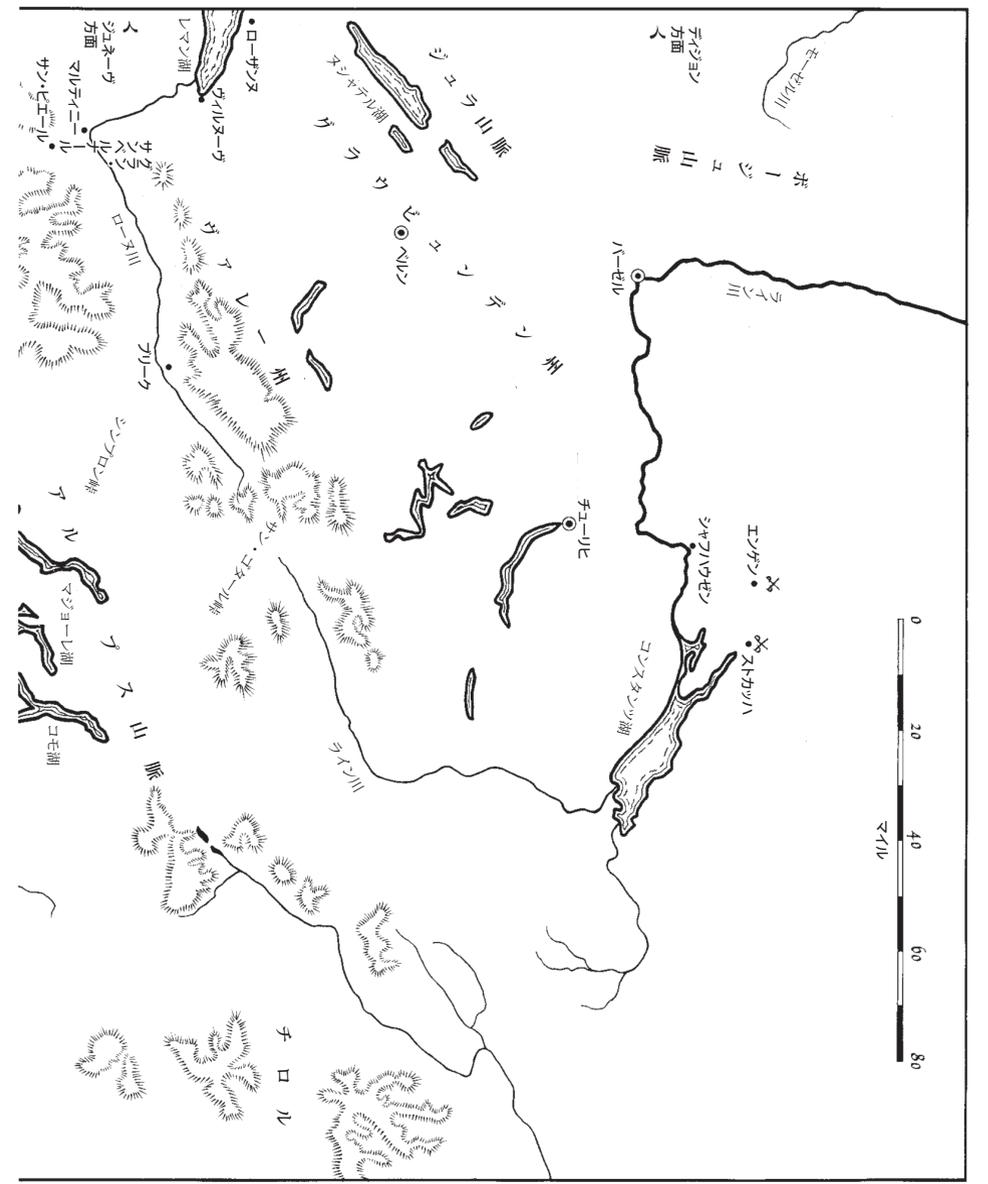


リヴォリの戦い (1797年1月14日～15日)

カスナーイリヨーネの戦い (1796年8月5日) 早朝



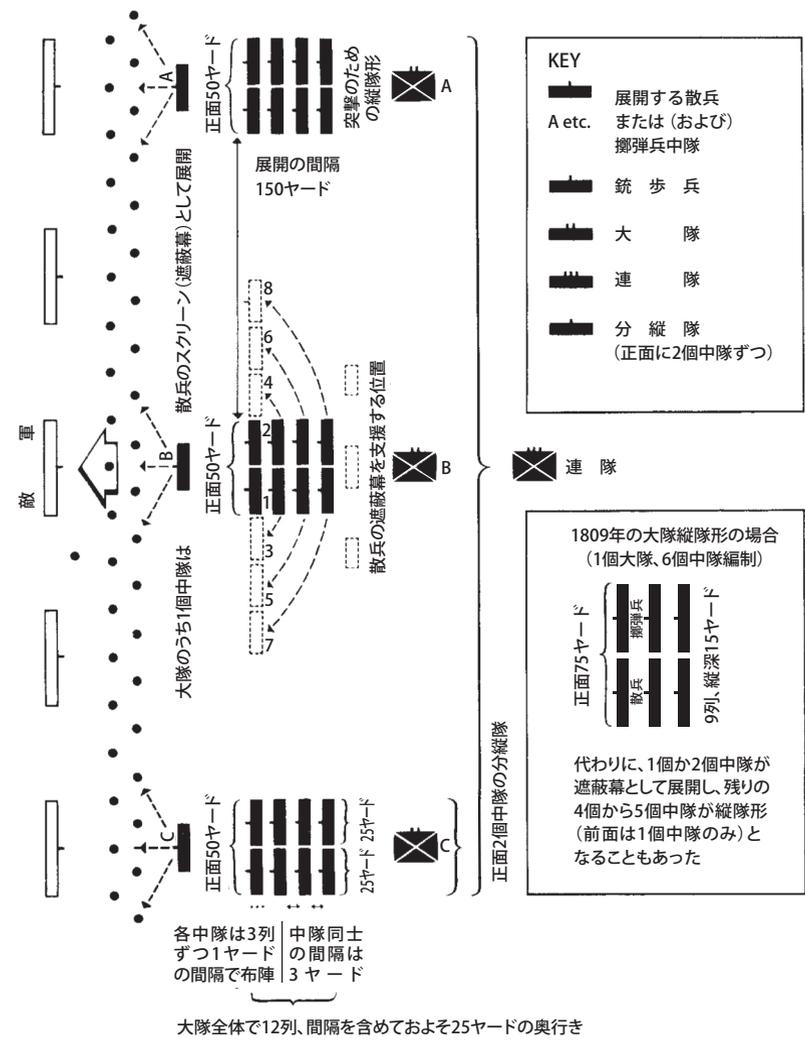






1

縦隊形の大隊からなる連隊による前進  
 分縦隊 (正面に2個中隊ずつ)  
 (1805年の1個大隊が9個中隊編制の場合)

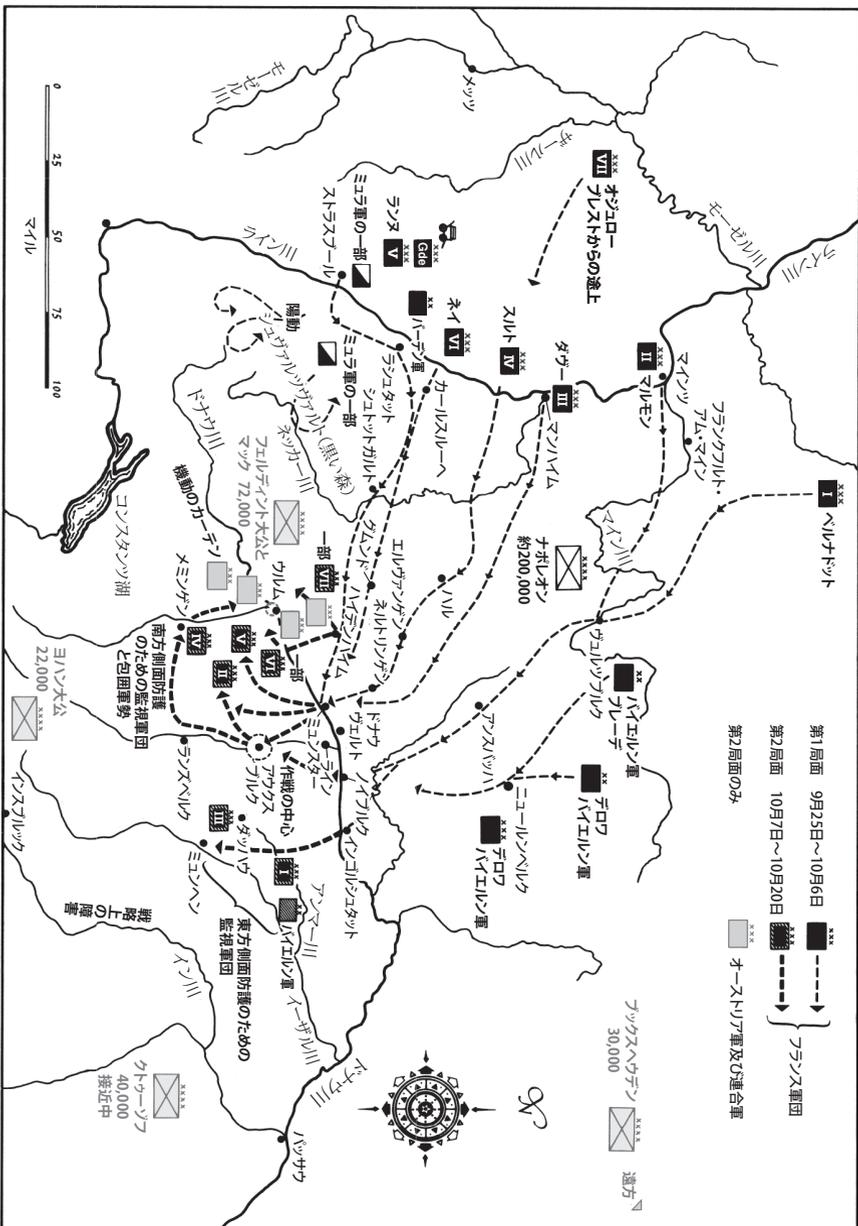


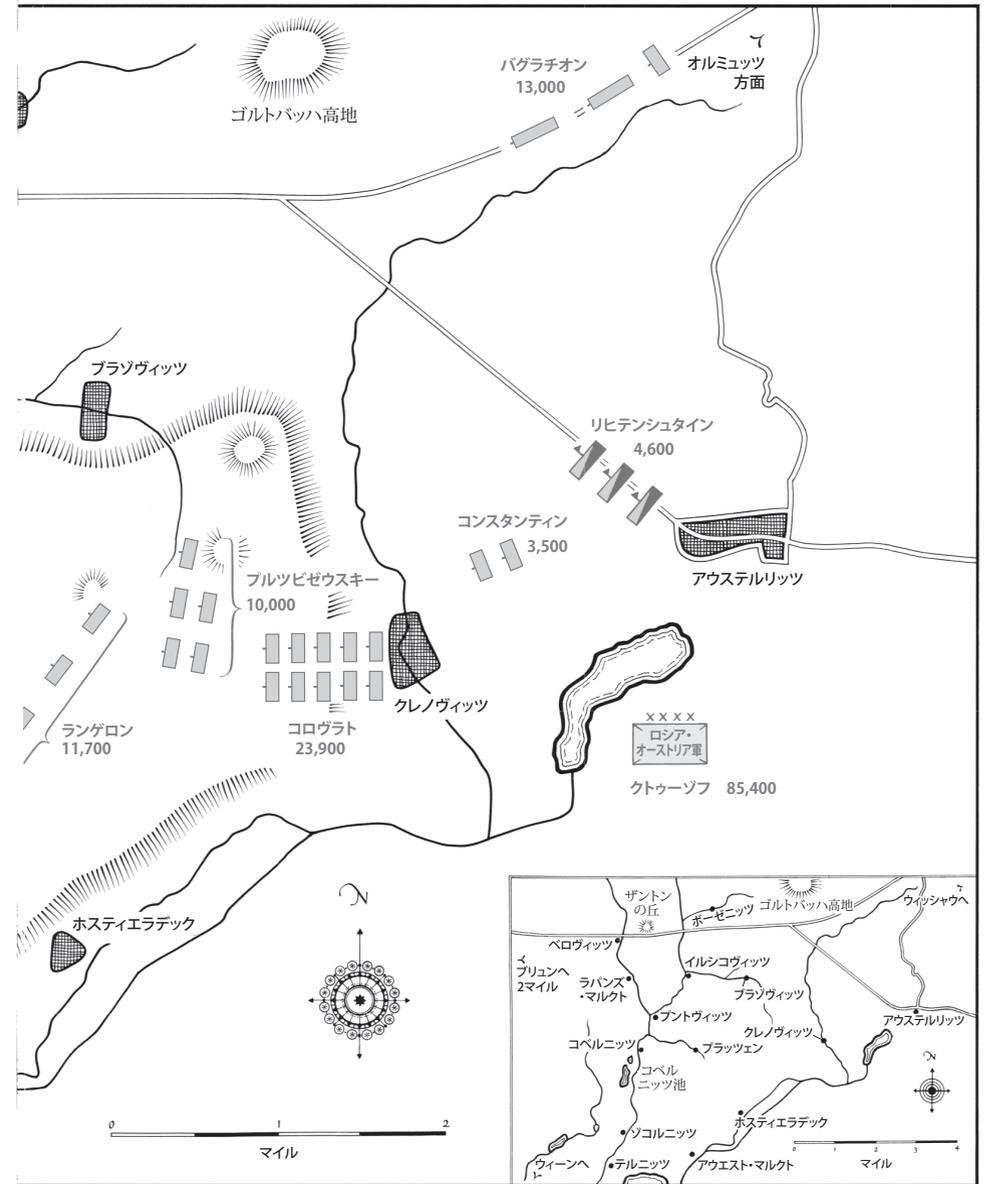
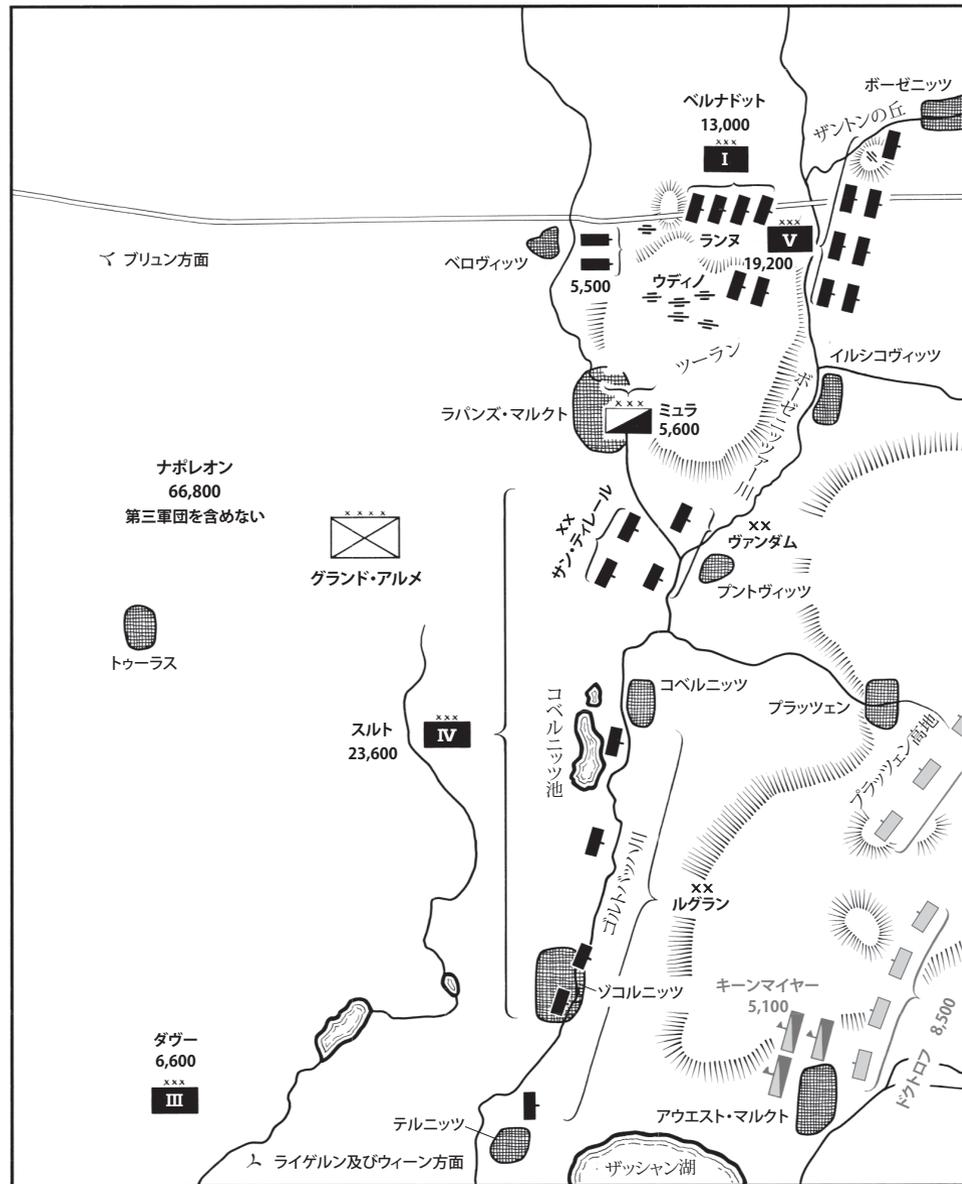
フランス軍の戦術隊形 分縦隊

7 1806年アウエルシュタットでモラン師団が示した戦闘下での柔軟な部隊展開	
	<p><b>第1段階</b>            接近して交戦に入る。            軽騎兵と第13軽歩兵連隊が支援。            敵砲兵が砲撃を開始するが、フランスの遮蔽部隊(騎兵と軽歩兵)が敵大軍を阻む。</p>
	<p><b>第2段階</b>            師団は縦隊形の大隊に別れ、戦列に沿って展開。            大砲と軽歩兵は両翼に位置する。            プロイセン歩兵を追い払い、第12戦列歩兵連隊(ギュタン師団の最左翼にある一隊)を救援する。</p>
	<p><b>第3段階</b>            師団は横隊形に展開し、ハッセンハウッセンの丘に位置するプロイセン軍に一齐射撃を浴びせる。</p>
	<p><b>第4段階</b>            プロイセン騎兵15,000の攻撃を受け、ハッセンハウッセン付近の大隊は展開したまま、壁や生垣を隠れ場所として利用。残りの7個大隊は方陣を組み、手前30歩の地点で敵騎兵を一齐に射撃。プロイセン軍は壊走する。</p>
	<p><b>第5段階</b>            師団は縦隊形の大隊として戦列を立て直し、前進を再開。敵歩兵を攻撃して川向こうに追い払う。</p> <p>注：一定の縮尺ではない</p>

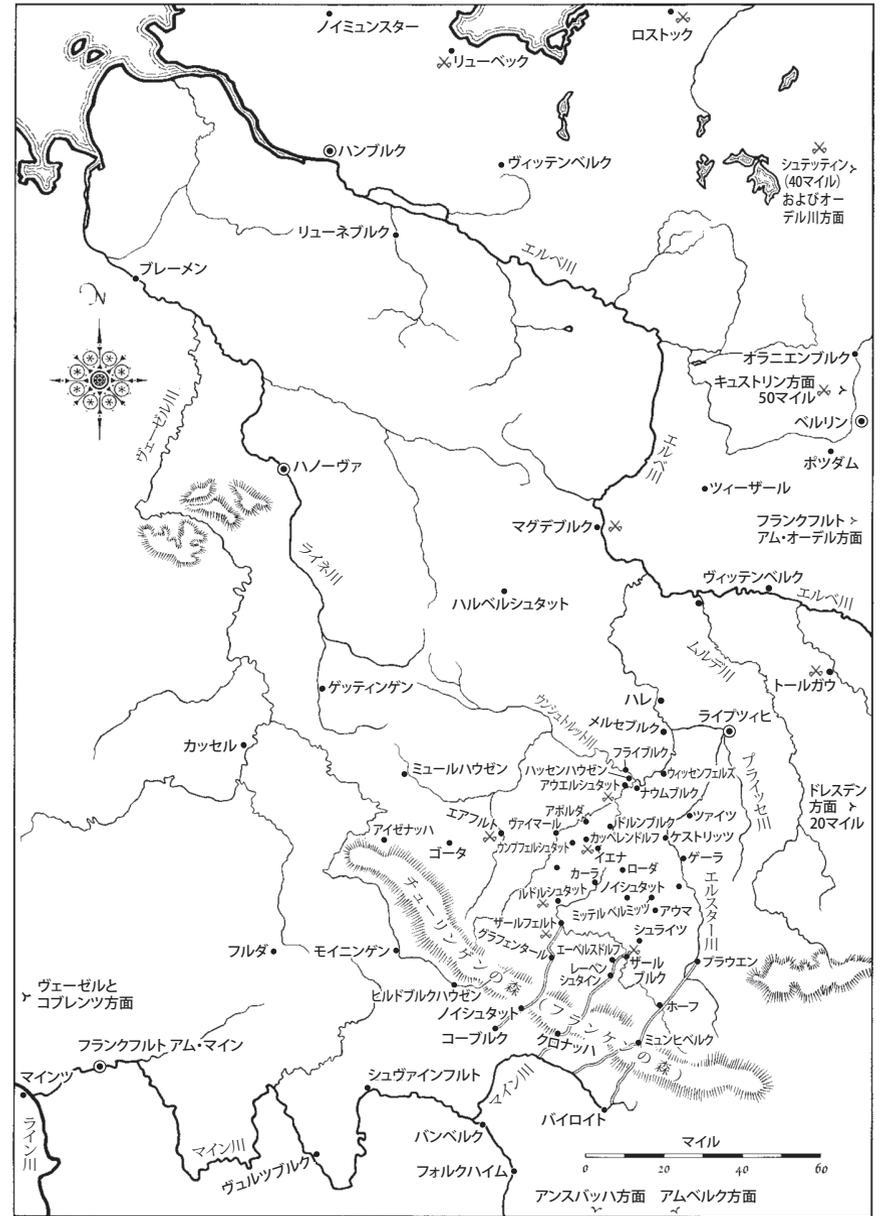
フランス軍の戦術隊形(結び)アウエルシュタットでモラン師団が採用した一連の隊形







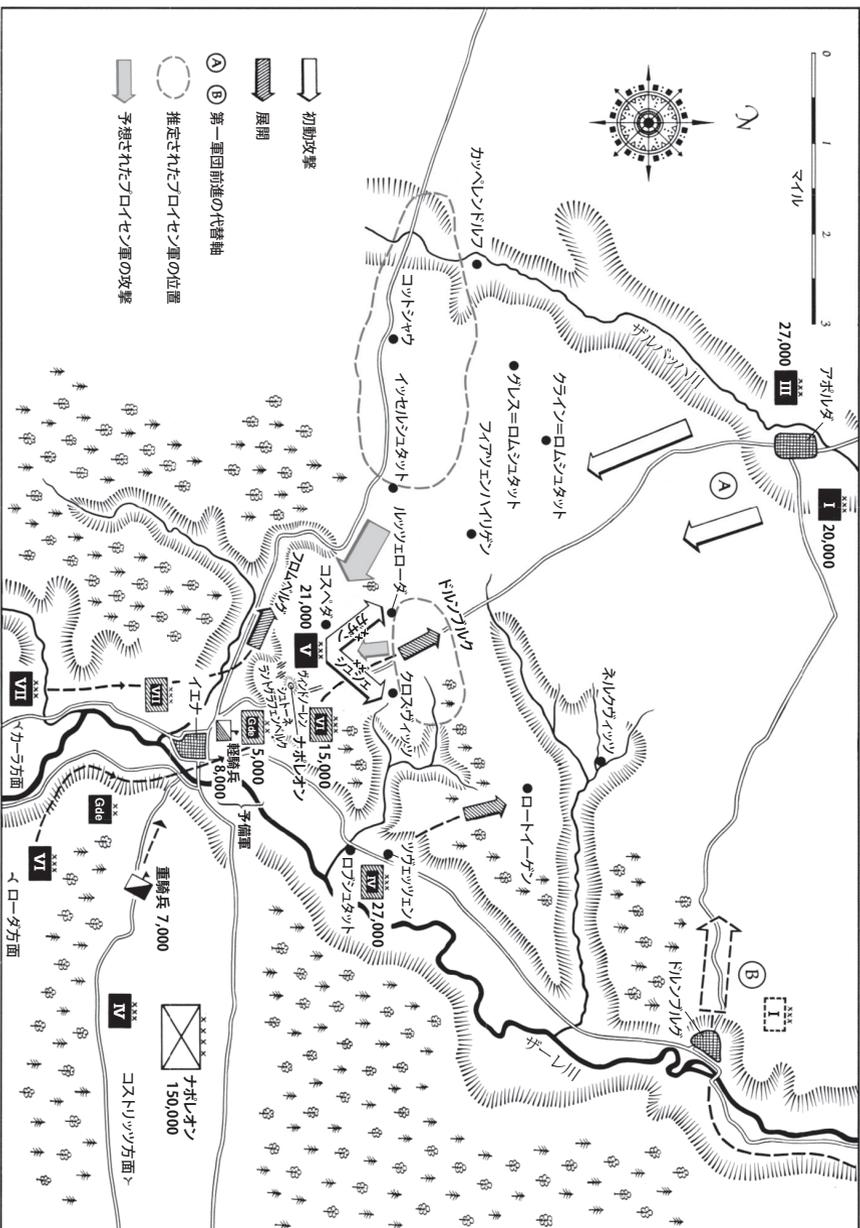
アウステルリッツの戦闘 (1805年12月2日) 全般的戦況、前夜遅くの時点



対プロイセン戦役 (1806年)



イエナリアウエルシュタットの戦い（1806年10月14日）ナポレオンの計画





ポーランド戦役

